

図書館だより 10月号

令和7年10月1日発行
王滝村教育委員会
村民図書館
TEL:48-2134

図書館利用時間:平日(開校日)午前9時~午後4時

10月の「読書会」は10月9日(木)13時30分からです。

今月号は、この「読書会」に参加されている人々の中から二名の方の声をお届けします。

地域おこし協力隊 森岡直子

今回、二回目の参加です。他の参加者の方が読んだ本を紹介されているのを聞き、その内容に興味を湧きました。

私は、昔から大好きな本に囲まれて育ちましたが、最近では、ネット小説を読むことが多くなっています。しかし、王滝村に来て以来、ネットでは読めない紙の本がどんどん増え…でも、忙しい毎日の中で、「積ん読本」が山のようになってきました。

読書会に参加した皆さんが、忙しい中、たくさん本を読まれているのを知り、無性に紙に書かれた本が読みたいになりました。次回は「積ん読本」の中から面白い本の紹介ができるよう、秋の夜長を読書で楽しみたいと考えています。

東区 胡桃澤尚乃

この夏、刈っても、刈っても、どんどん伸びてくる雑草に疲れ果てていた頃、この本を図書館で手にしました。

❶「雑草を攻略する13方法」谷本 雄治

よし、これで雑草をやっつけるぞ!と意気込んだ私でしたが…、雑草は強い!! やっつけるどころか反対に、この著者同様、雑草が愛おしくなってきたしまいました(ミイラ取りが…)。ならば、雑草攻略を諦めて、雑草を生かした「庭」が作れるのでは?と思いはじめ…

❷「雑草と楽しむ庭づくり」曳地 トシ

雑草を人間の「役に立たない草」と考えず、もっと大きな目で見て、生態系を豊かにしてくれる仲間として共存していくのも楽しいかもしれない。この本の中では、名前の由来や、薬効、育て方、やってくる昆虫など、楽しく解説されている。「雑草」が、いつか、我が家の庭の大切な「花」になるかも。すると、「雑草」と「野草」は紙一重だ。野草なら、食べて美味しいものもある。それならこの本。

❸「食べる野草図鑑」岡田 恭子

季節の摘み菜レシピが満載だ。美味しい野菜がたくさん取れる王滝で、わざわざ野草を食べなくても良いかもしれませんが、いや、だからこそ、季節の野草や雑草の、独特な苦味や酸味、ほのかな甘みや香りを楽しむことができるのは、王滝村に住んでいればこそ。食べて楽しんだ後は、もう一つのこの本。

❹「花いけの勘どころ」上野 雄次

「花いけ」とは、美しい花だけではなく、クズやコスモス、栗、ヘクソカズラなどの「雑草たち」も表現の主役となります。花のかすかな声を聴いた斬新な花いけの写真集です。何度もページをめくって見たくなる一冊です。

雑草駆除に疲れて読み始めた本から、庭に生かす、食す、生ける…の本へ興味が広がりました。私の日常生活の中では、本が次から次へと顔を出します。次は、どこへ興味が向かうのか私も楽しみです。

右に紹介した本は、すべて図書館にあります。どうぞ、お越しく下さい。



新刊本

今話題の漢方と薬膳の本

『体ととうの おうち薬膳』NHK テキスト

『薬膳の食卓 365日』『漢方の暮らし 365日』

秋の夜長に手芸の本

『まいにちカラフル 一年中の編み物』

『柴田明美の Patchwork かわいいと言って』他

読み物

『チョコレート・ピース』青山美智子 マガジンハウス

『麦本三歩の好きなもの』住野よる 幻冬舎

『名古屋お疲れメシ通信』森崎緩 双葉文庫